

令和4年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

評価実施者

奥村 富士雄 年齢 75 才 議員経験年数 12 年

評価日

令和5年3月31日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
1. 議員活動の原則 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	定例会で毎回一般質問を行うとともに、全員協議会や各常任・特別委員会などで積極的に意見を述べた。	議員全員の意見が活発に行われ、有効な合議ができるようにする。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	今後の防災活動や議会活動などについて、県の防災研修、防災士として自治体議員防災研修や広島県町議会研修を積極的に受講した。	能力を高め、研修成果を実践し、町民の信託に答えることが重要である。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	・住民協、社会福祉協議会、商工会等と連携し活動をした。 ・議会選出監査委員として、坂町の月1回例月出納検査と、決算審査、定例監査を行った。	今後とも各団体等との連携を図り、より活発に活動していくことである。
2. 自由討議の拡大 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	○	常任・特別委員会等で自由討議は積極的に行ったが、議員の政策提案はできなかった。	議員提案の案件を、町民の意見を聞きながら、調査研究し、取り組む必要がある。
3. 議会費および政務活動費 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	○	・自治体議員防災研修が開催されたので、防災士として出席し、議会・議員の防災への取り組みを学んだ。 ・議会報告として毎月1回広報紙を発行・配布して町民へ情報提供を行った。 ・政務活動費の報告は議長に提出した。	コロナ禍後は、研修や視察を積極的に行い、今後のまちづくりや議会活動のために取り組んでいく。
4. 選挙公約の評価 ① 豪雨災害復旧・復興による安全・安心の地域づくり ② 支えあいで、子育てや高齢者にやさしい安心できる地域づくり ③ ウオーキング等で人と町の健康・生きがいのある地域づくり ④ 商工業の活性化、特産品の開発等で活力ある地域づくり ⑤ 協働で地方創生を目指し、元気な町づくり	○	(1) ボランティア活動、津波災害避難場所完成後、管理等の取り組みをした。 (2) 住民協等活動は、コロナ禍ではあったが、参加し取り組んだ。 (3) 産学官連携の月イチウォーキングや地区のいきいき百歳体操に参加し、健康づくりに取り組んだ。 (4) 商工会活動への参加、事業所支援等に取り組んだ。 (5) 横浜戸主会、住民協等町内団体活動を通じて地域づくりに取り組んだ。	(1) 防災活動と安全・安心な地域づくりの推進。 (2) 子育て・高齢者を支えあう地域づくりを引き続き推進していく。 (3) 引き続き取り組む。 (4) ベイサイドビーチ坂の活用による町内産業の活性化を図る。 (5) 津波一時避難場所整備後の運営や防災に強い地域づくりへの取り組み。